

INSTRUCTION



**Minolta Uniomat** 使用説明書





## お買い上げ ありがとうございます

ミノルタユニオマツトは、これからのアマチュアカメラのあり方に対する全く新しい思想に基づいて設計された、新時代の完全自動式35ミリカメラです。

従来のカメラは、シャッター速度と絞りを別々に調節して露出を決定しているため、その幾つもの組み合わせの中から、最も適当な組み合わせを自分の判断で選ぶ必要があり、たとえ露出計完全連動式、又はエレクトリックアイ式カメラでさえも、シャッター速度又は絞りの一方は結局、経験による勘で決め、手でセットしなければなりません。

ミノルタユニオマツトは、シャッターが絞りの役目も兼ねており、速度と絞り値（口径）が同時に変化する画期的な「**光量値シャッター**」を採用しているため、露出調節リングを廻して、露出計の指針に他の指標を合わせるだけの全くの一操作で、各被写体に対する理想的なシャッター速度と絞り（口径）の組み合わせが自動的にセットされますからシャッター速度や絞りなど一切考える必要はありません。

その上、ピントの合わせ易いブライトフレーム式の連動距離計ファインダー、新理論に基づくフラッシュ露出自動調節装置、自動復元式撮影枚数盤…等々、一切の撮影操作が自動化され、全然、経験や勘を必要としませんから、正しい使い方さえして戴けば、全くの初心者でも買ったその日から、上手下手なく立派な写真を写すことができます。



## 性能要目

- 画面サイズ：24×36mm、パトローネ入 35mm フィルム使用  
36枚撮り
- レンズ：ロッキール45mm F2.8 新種ガラス使用4枚構成
- シャッター：オプチパーユニシチズン・LV6 (F2.8, 1/8秒) ~  
LV18 (F16, 1/1000秒) MX接点、セルフ内蔵  
絞りの働きも兼ねた一操作露出調節式シャッター
- ファインダー：ブライフレーム式一眼連動距離計ファインダー  
視差匡正マーク付、倍率0.76倍、基線長 25mm
- 焦点調節：堅牢精密なダブルマウント前玉繰出方式、距離計  
連動 距離目盛0.9m~∞、廻転角度100°
- 露出調節：一操作追針式露出計連動、受光板は切換不要の  
反射光式 測定範囲 LV6~17(ASA100の場合)  
機械式連動 ガイドラインのない直接追針式
- フィルム感度調節：ASA6~1600、等間隔、中間感度セット可能
- フラッシュ露出調節：ABCD光量記号に距離目盛を合わせるだけ  
の一操作自動露出調節式、計算不要
- フィルム巻上げ：レバー式、220°廻転、小刻み巻上げ可能
- カウンター：手を使わない完全自動順算式(ゼロリターン)
- フィルム巻戻し：クランク式、巻戻し用ボタンを押しながら行う
- フィルム装填：蝶番式裏蓋開閉、フィルム室の底部も裏蓋と共  
に開くため、フィルム装填容易
- フィルターサイズ：径40.5mm P(ピッチ)=0.5 ネジマウント
- フードサイズ：径42mm カブセ式マウント (A5と共通)
- 大きさ、重量：巾135mm、厚さ73mm、高さ89mm、710g

## 目次

性能要目	3
フィルムに入れ方	4
フィルムの巻上げ	5
露出の合わせ方	6
露出計の正しい測り方	6
ASA感度の合わせ方	7
露出計の合わせ方	8
シャッター速度について	9
被写界深度について	9
ライトバリュースとシャッター速度 及び絞りとの関係	9
構図の決め方	10
ピントの合わせ方	11
フィルムの巻戻し	12
セルフタイマーの使い方	12
フラッシュ撮影	13
ABC光量記号について	13
フラッシュ露出の合わせ方	14
アクセサリ	15
品質保証とアフターサービス	15



# フィルム の 入れ方

☆市販の20枚撮り又は36枚撮りのパトローネ入り  
35mm フィルムを使用します。

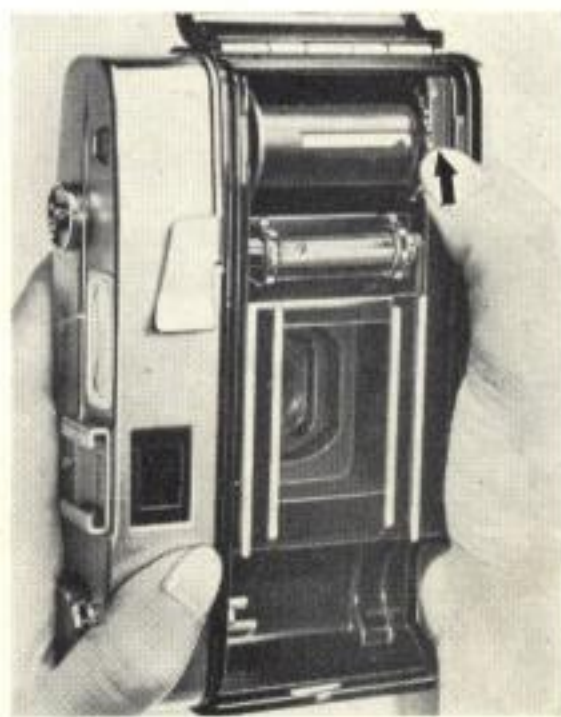
☆フィルムの出し入れは日陰で行って下さい。

カメラ底部の裏蓋開閉金具  
を充分引き出すと、裏蓋が  
開きます。

フィルム巻取り軸の端の歯  
車を廻して、フィルム差込  
み口を上側へ出します。

フィルムの先を、差込み口  
の向う側のすき間へ差込み  
手前側の爪に引掛けます。

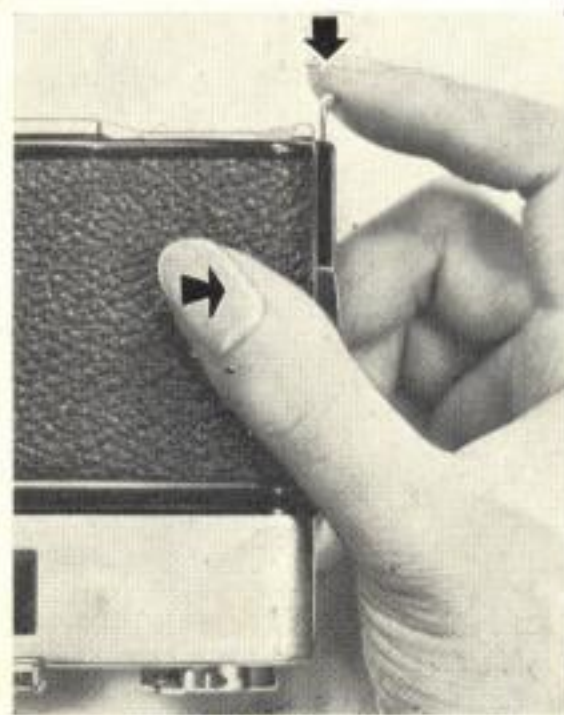
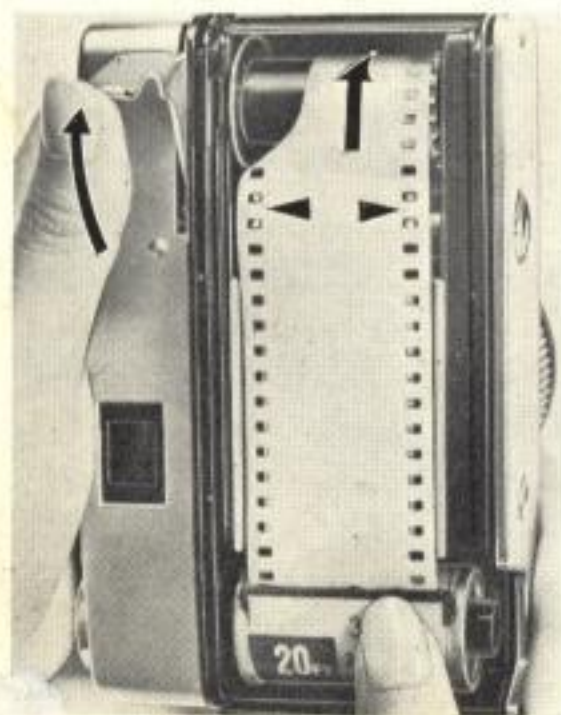
巻戻しノックを引き出し、  
やゝカメラの底の方からパ  
トローネを入れ、元通りに  
巻戻しノックを押込みます





パトローネを軽く押さえながら、巻上げレバーを止る所まで廻して、フィルムを巻上げて見ます。

裏蓋を充分閉じ、開閉金具を完全に押し込みます。巻戻しノブを軽く時計方向に廻してパトローネ内のフィルムのゆるみをなくしておきます。



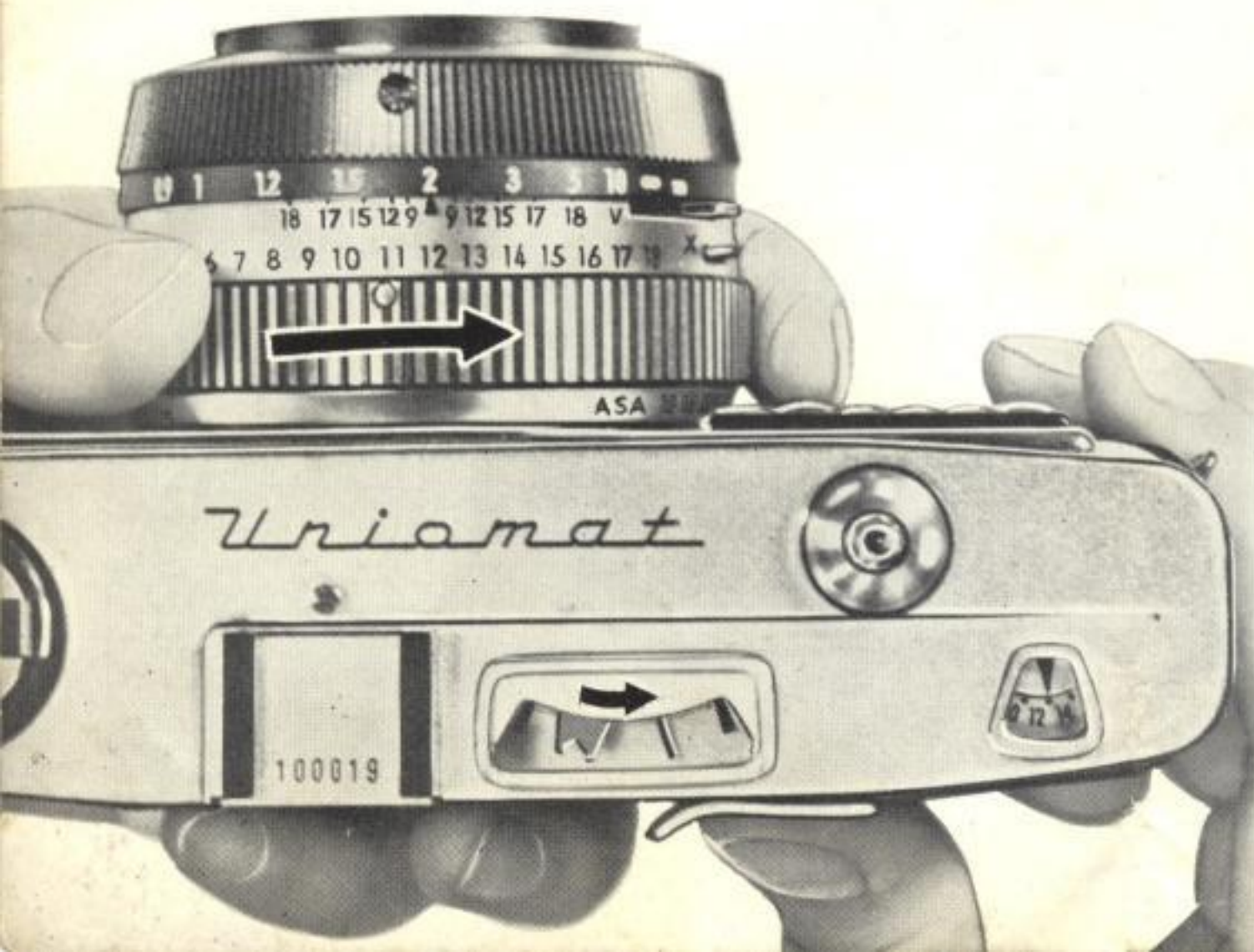
## フィルムの巻上げ

巻上げレバーを止る所まで廻して、シャッターボタンを押す。この操作を二回繰返して後、三回目の巻上げで、フィルムカウンターに①が出て、同時にシャッターもセットされていますから、シャッターボタンを押せば、最初の撮影ができます。巻上げレバーは一度に巻上げて、小刻みに巻いてもかまいません。いずれにしても、止る所まで巻上げないとシャッターボタンは動きません。





# 露出の合わせ方



## 露出計の正しい測り方

ミノルタユニオマットの連動露出計は反射光式と言って、被写体から反射して来る光の強さを測って、露出を決定します。しかし、被写体以外からの光の影響も受けますので、特に被写体とバックとの明暗差の甚だしい場合などには、測り方に若干の注意が必要です。

### (1) 人物撮影の場合はなるべく近寄って

人物など画面内に特に重要な被写体がある場合はそのものになるべく近寄って、バックからの光が露出計の受光窓に入らないようにして測って下さい。その際、自分やカメラなどの影が測定面に入らないように注意して下さい。

被写体そのものゝ明暗差の甚だしい場合、例えば白いシャツに黒いズボン、日向と日陰などの場合は、充分近づいてその両方を測り、ライトバリエーの平均値で撮影するのが正しい方法です。

ポートレートのように人物の顔がおもな被写体の場合は、手のひらを受光窓の10cm位い前において顔の代りに測っても結構です。但し日中、戸外で、顔と手とが同じ明るさである必要があります。夜間照明の場合は顔に近寄って測って下さい。

### (2) 風景撮影の場合は空が入らないように

空の入らない風景の場合は、普通に被写体の中央



部に向けて測ればよいのですが、空を含む風景のときは、天空からの強い光の影響を受けないようにカメラを2~3m先の地面に向けて測って下さい。但し雲などを主体とする場合は別です。

**(3) 逆光線撮影の場合は写す目的に応じて** 逆光線の被写体そのものを明るく写したいときは、背景の強い光線の影響を受けないように被写体に充分近寄って、その陰の部分を探ります。

被写体と背景と両方を適当に写したいときは、被写体の陰の部分と、背景とのライトバリューの平均値で写します。

被写体をシルエットに写したいときは、明るい背景に露出を合わせるか、又は撮影位置からそのまま測っても結構です。

空、海、明るい窓外を背景とした人物撮影の場合も、大体同じ要領で測ります。

カラーフィルムの場合も、白黒フィルムと同じ要領で結構です。但し色温度の問題は別です。

## ASA 感度の合わせ方

先ず最初に、カメラに装填したフィルムのASA感度、例えばネオパンSSを使う場合はASA 100ですから、鏡胴基部の露出調節リングを充分引き出し、リングの赤点をASA目盛の100に合わせてから、リングを落とし込みます。

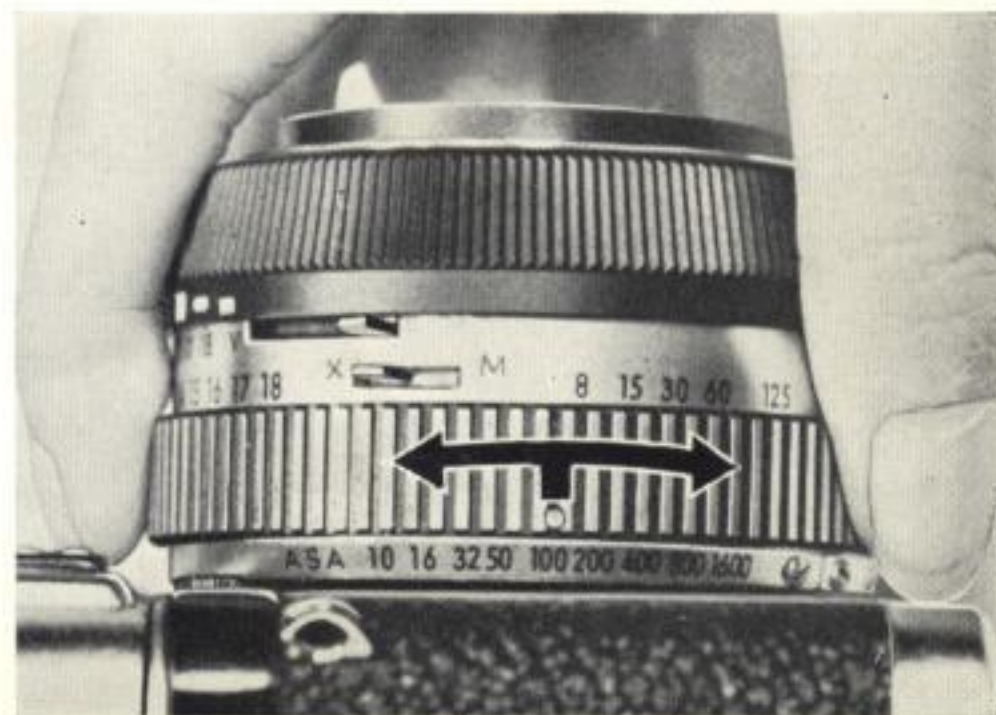
ASA 32と50の間以外は、各目盛の中間にセットすることもできます。

希望のASA目盛に合わせられない(露

出調節リングが廻せない)ときは、リングの上部の赤点がライトバリューのB又は18(限界)に来ていますから、一旦リングを落とし込んで、露出調節リングを合わせようとする目盛と反対の方向へ少し廻してから、再びリングを引出し希望のASA目盛に合わせます。ASA感度の調節は、フィルムを入れたとき、一度だけ行えばよいのです。

フィルム感度一覧表

カラーフィルム			白黒フィルム				フィルム名(35ミリ)	ASA感度
オリコ リニカ カラ ラー ネガ タイプ	フジ カラー ネガ タイプ	フジ カラー リバー サル (露光用)	コ ニ パ ン S S S	ネ オ パ ン S S S	コ ニ パ ン S S S	ネ オ パ ン F		
50	32	10	200	100	50	32	露光	
50	32	—	160	80	40	25	電灯光	

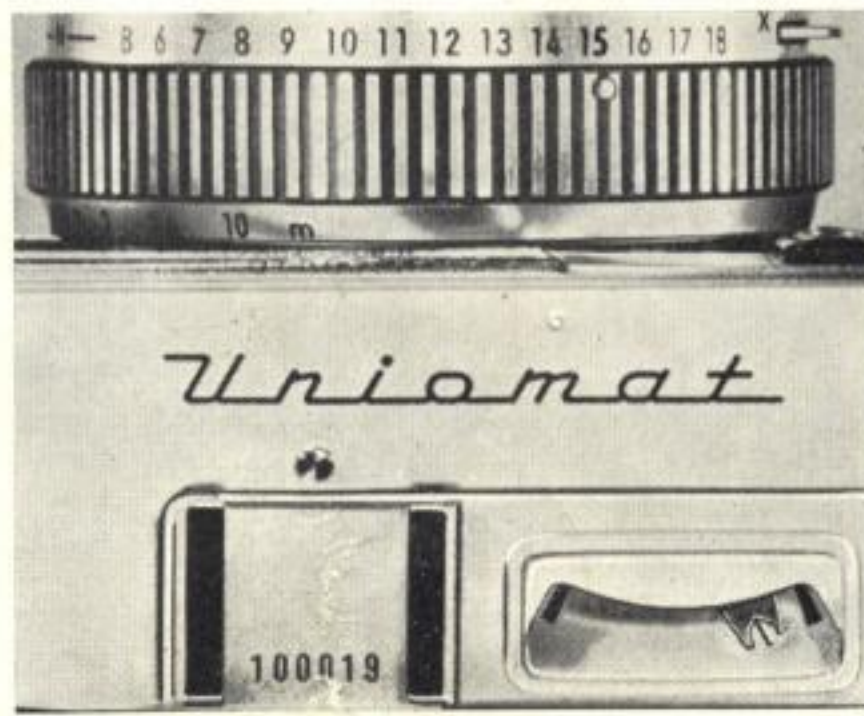
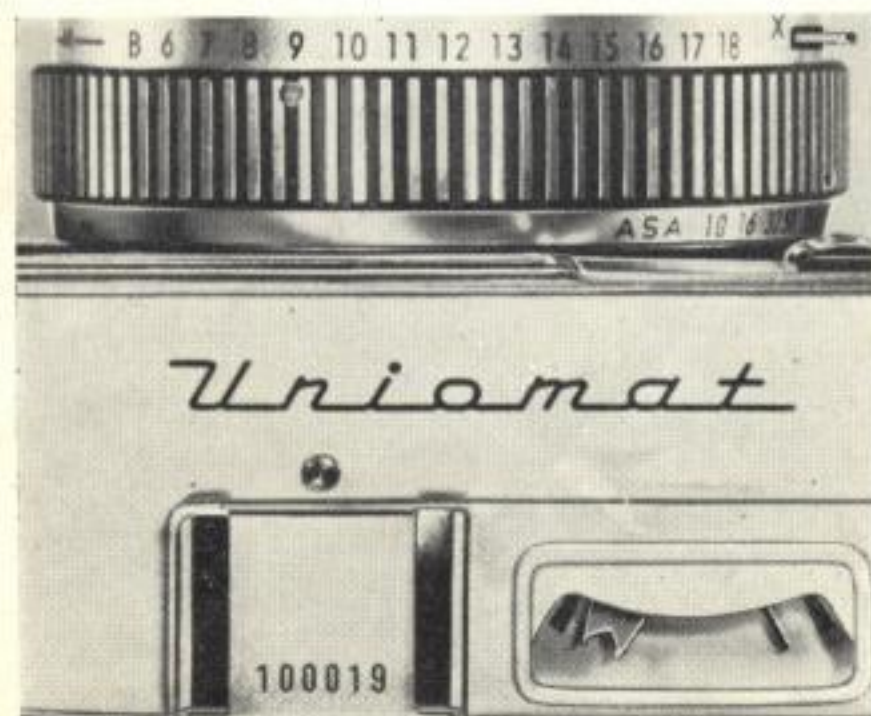




## 露出計の合わせ方

カメラを写すものの方へ向けると、カメラ上部の露出計窓に見える赤い指針が、写すものの明るさに応じて振れます。そこで、レンズ鏡胴の手前の方にある露出調節リングを、右又は左へ廻して、露出計の細い指針に、もう一つの二又の指標の谷を合わせれば、写すものに最も適当なシャッター速度と絞りが自動的にセットされ、適正露出となります。

- ★露出計を合わせるときは、受光窓を手で蔽わないようご注意ください。
- ★指針を合わせる時は、真上から見て正確に、追掛け指標の二又の谷に合わせて下さい。
- ★暗すぎる所や明るすぎる場所で、露出計の指針が露出計窓の左右の隅の黒線に半分以上入った場合は、露出計の測定範囲外ですからご注意ください。
- ★ASA 感度の非常に低いフィルムや反対に非常に高いフィルムを使用する場合に、二又指標が露出計窓の左右の隅まで十分に廻らなかったり、空廻りをすることがあります。



露出調節リングの前面にはB、6~18までのライトバリュ目盛があります。露出計の指針に他の指標を合わせた場合露出調節リング上部の赤点はその場合のライトバリュ（光量）を示します。

もし、この赤点がライトバリュ目盛のBから8までの赤字の目盛の範囲内にあるときは、スローシャッター速度になりますから、手持ちで写すとカメラブレを起す危険性があり、なるべく三脚を使って下さい。但し、ライトバリュの7、8の場合は、注意すれば手持ちでも写せます。

Bはバルブと言って、シャッターボタンを押している間中シャッターが開いており、離すと閉じますから、手加減で自由に長い露出ができます。なお、露出調節リングをライトバリュの6からBに廻すとき、警告の意味のクリックがありますから、指針を合わせていてもわかります。



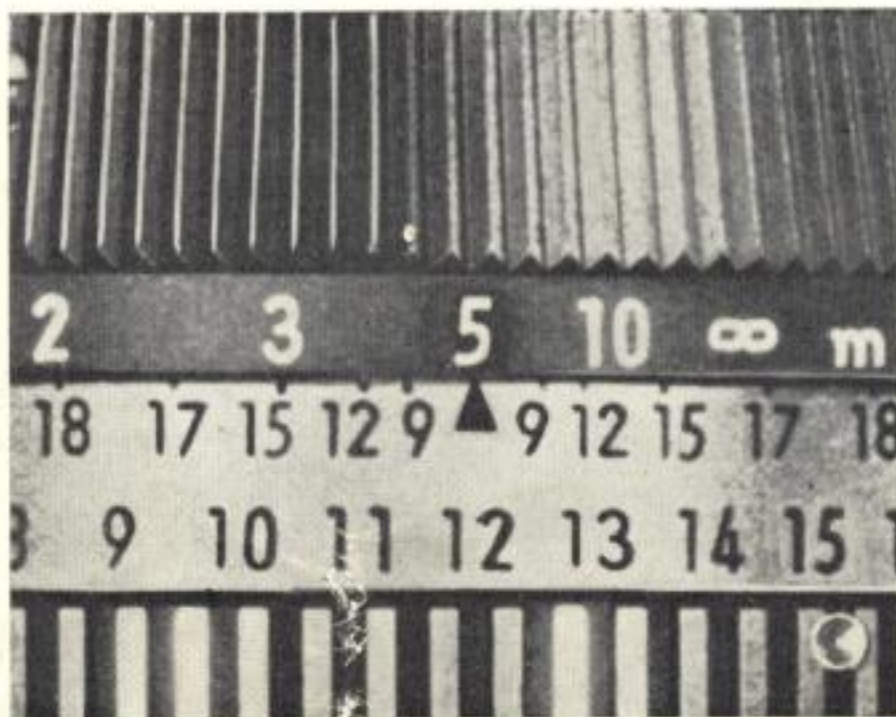
## シャッター速度について

露出計の指標を指針に合わせたとき、その場合のシャッター速度を知り度いときは、レンズ鏡胴の右下面に、参考までにシャッター速度目盛があります。ライトバリュ目盛の6, 7, 8, の赤字はそれぞれ $\frac{1}{8}$ ,  $\frac{1}{16}$ ,  $\frac{1}{32}$ 秒に相当し、9は $\frac{1}{60}$ 秒、18は $\frac{1}{1000}$ 秒になることがわかります。なおライトバリュ目盛とシャッター速度目盛とは必ずしも合いませんが、此のシャッターは、どこへ合わせても中間速度が出ます。



## 被写界深度について

ピントを合わせたもの、前後にも、実用上充分鮮鋭に写る範囲があります。これを被写界深度と言います。被写界深度を知りたい時はレンズ鏡胴のライトバリュ目盛と、被写体距離目盛との間に、この被写界深度目盛があり、例えば下図のようにライトバリュが15で、被写体までの距離が5mの場合は、5mを中心に深度目盛の両方の15が示す距離目盛の範囲、つまり約3mから15m位いまでが鮮鋭に写ることがわかります。



ライトバリュ目盛とシャッター速度及び絞りとの関係

ライトバリュ目盛	シャッター速度(秒)(約)	絞り F:(約)
6	$\frac{1}{8}$	2.8
7	$\frac{1}{16}$	2.8
8	$\frac{1}{32}$	2.8
9	$\frac{1}{64}$	2.8
10	$\frac{1}{120}$	2.9
11	$\frac{1}{170}$	3.5
12	$\frac{1}{220}$	4.3
13	$\frac{1}{290}$	5.3
14	$\frac{1}{380}$	6.5
15	$\frac{1}{480}$	8.2
16	$\frac{1}{610}$	10.4
17	$\frac{1}{770}$	12.8
18	$\frac{1}{1000}$	16.0



## 構図の決め方



### ファインダーの見方

ファインダーの覗き窓から被写体（写すもの）を見ると、視野の周辺部に明るい光の枠が見えます。これをブライトフレームと言います。この範囲内に見えるものが確実に写るわけです。

しかし、近距離のものを写す場合は、写る範囲が多少右下の方へずれて来ますから、1m内外のものを写すときは、ブライトフレームの少し内側の線（左上に見える「L」形の線と右上の短い線）のかどと、ブライトフレームの下外の左右に見える二つの短い線の両端とをつないだ範囲内のものが写ります。

ファインダー視野





## ピントの合わせ方

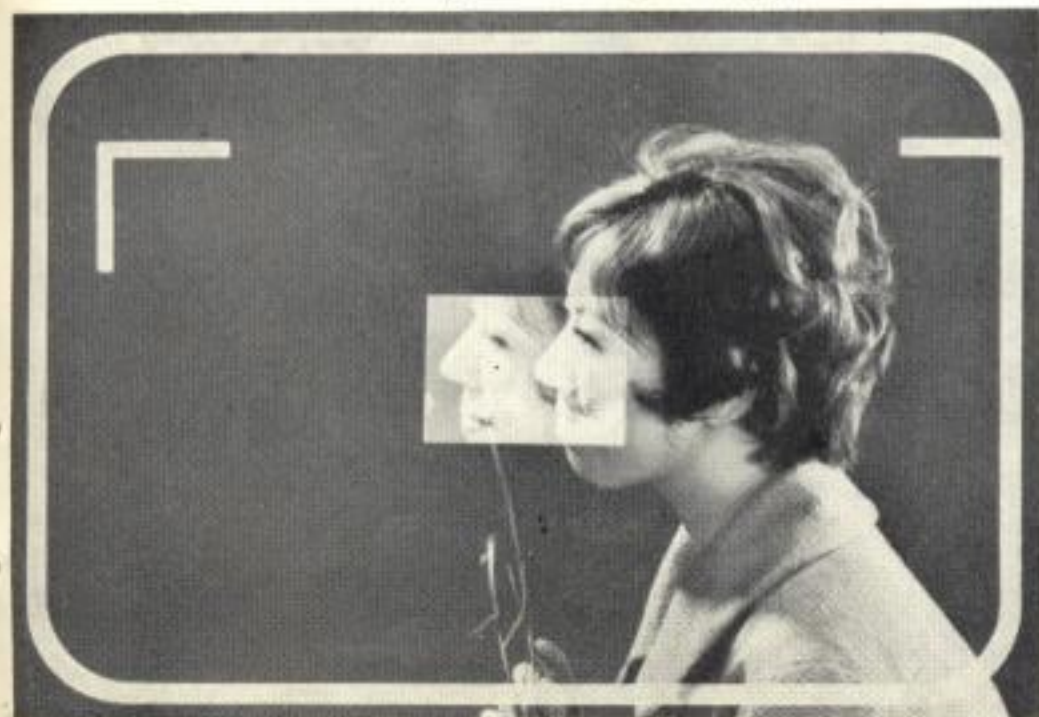
### 焦点調節

ファインダー視野の中央に見える明るい矩形の部分は距離計の反射像で、ピントを合わせる場所です。ファインダーを覗きながら、レンズ鏡筒先端の焦点調節リングを廻すと、この明るい矩形内に見える被写体の部分が、二重になったり、一つに合ったりして見えます。二つに別れて見える場合は、そのものにピントが合っていないときで、完全に一つに合致

した場合には、フィルムの上にも鮮鋭に写ります。そのとき、焦点調節リングの白い距離目盛が、鏡筒上面中央の▲印によって、被写体までの距離を示しています。

約90cmから∞（無限遠）のものまで、距離計連動でピントを合わせて写すことができます。

ピントが合っていない場合



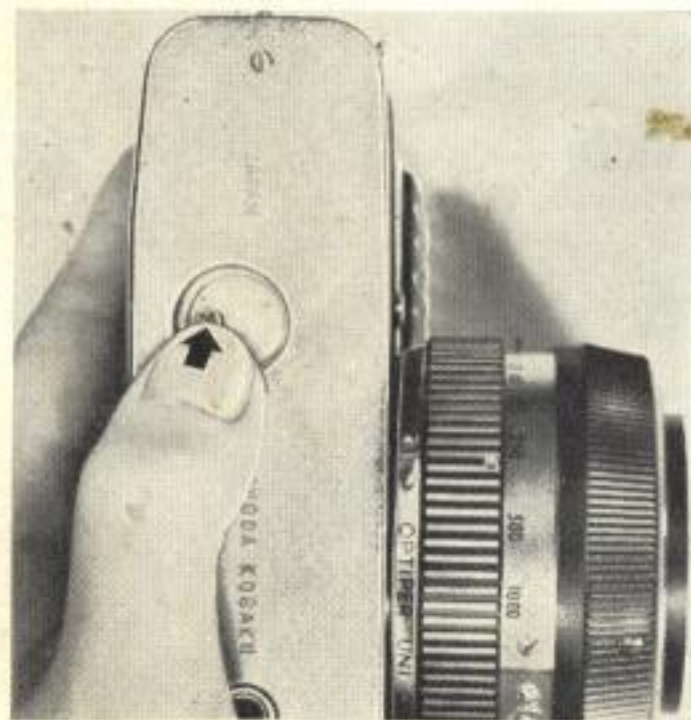
ピントが正確に合った場合



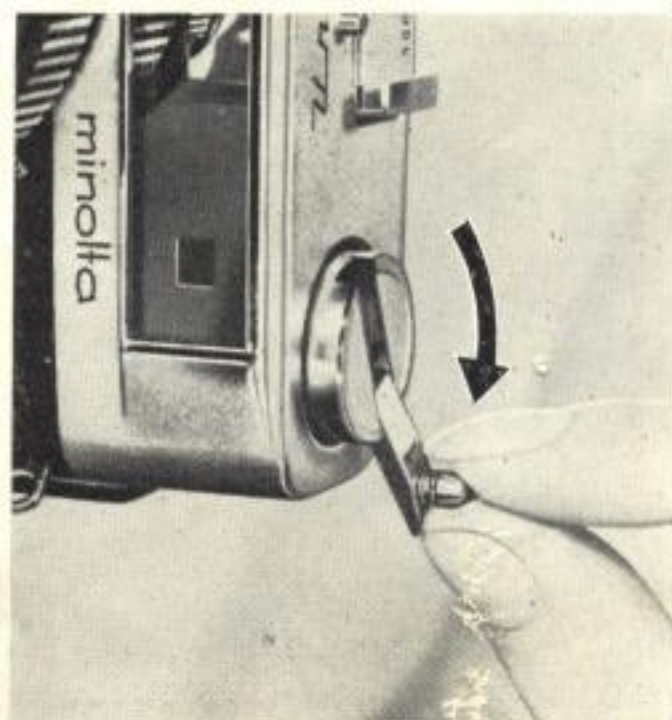


## フィルムの巻戻し

20枚又は36枚、フィルムを全部写し終ると、巻上げレバーが急に重くなりますから、無理に廻さずに注意して、巻上げをやめないと、パトローネの軸からフィルムが外れて、巻戻しができなくなります。35mmフィルムは裸フィルムですから、パトローネをカメラから取り出す前に、必ずパトローネの中へ、元通りに巻戻さなければなりません。

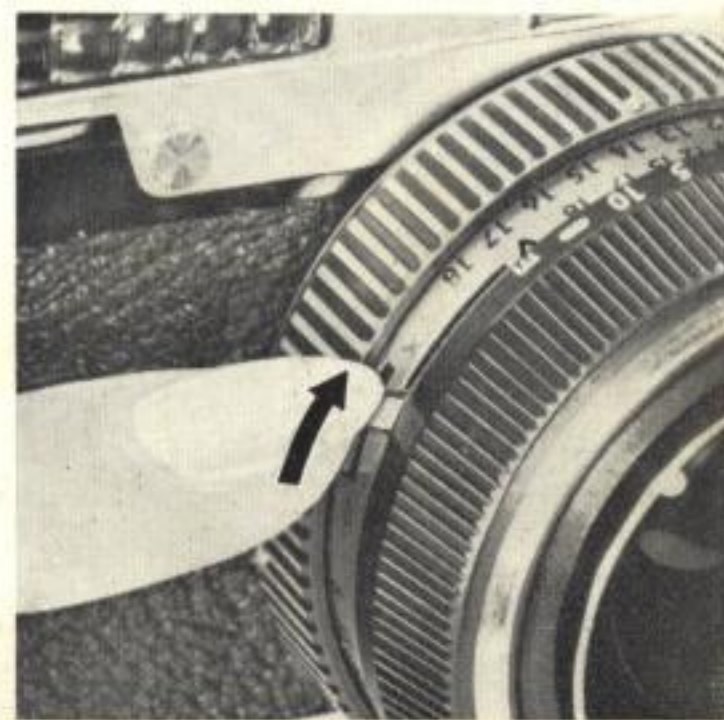


カメラの底部にある巻戻し用ボタンを充分押しながら、カメラ上隅の巻戻しクランクを起し、クランクにある矢印の方向に静かに廻すと、フィルムはパトローネの中へ巻込まれてゆきます。最後に、フィルムが巻取り軸から外れて、巻戻しが急に軽くなりますから、更に少し廻して巻戻しをやめ、裏蓋を開いてパトローネを取り出し、現像にまわします。☆フィルムを取り出すときも日陰で行って下さい。



## セルフタイマーの使い方

フィルムを巻上げて後、レンズ鏡胴の向って左上に出ている青いセルフタイマーレバーを、上方の緑のVの字の方へ、止まる所まで廻してシャッターボタンを押すと、約10秒後にシャッターが切れます。撮影距離に応じて、レバーのチャージの程度を加減すれば、作動時間を自由に調節することができます。





# フラッシュ撮影



ミノルタユニオマットは、画期的なフラッシュ露出自動調節装置を採用していますから、光量記号に距離目盛を合わせるだけで適正露出が得られます。ガイドナンバーの割算など一切不要です。

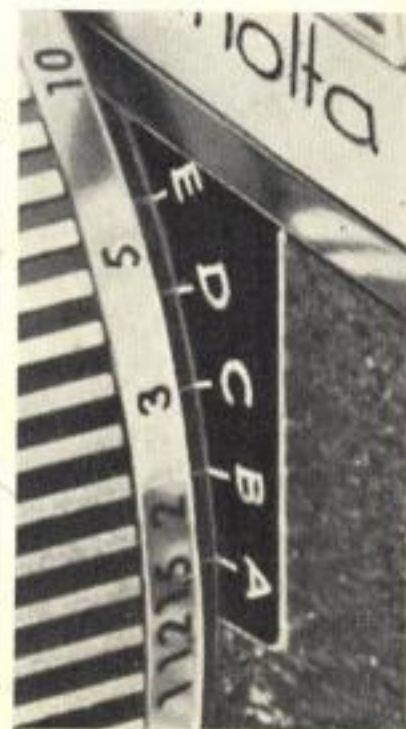
## ABCD 光量記号について

カメラの右前部にある光量記号は、下図のように、使用フィルムのASA感度100、シャッター速度約 $\frac{1}{50}$ 秒のときのガイドナンバー（被写体距離メートル）がそれぞれ、A=18、B=25、C=35、D=50、E=70に相当するM級閃光電球又はスピードライトを示しています。

### 各光量記号に相当するM級バルブ及びスピードライト

光量記号	ガイドナンバー (m)	閃光電球		スピードライト	
		ウェスト	マツダ	カコ	ワルツ
A	18			カコ-F	オートフラッシュ 38
B	25			カコS-3	
C	35	No. 0 M-0 MX-0	スーパー-2M スーパー-0		
D	50	M-1 M-3 MX-3	スーパー-3 No. 5	カコ-P-200	
E	70	M-5 Zプレス	プレス No. 11 No. 22		

ASA 100、シャッター速度約 $\frac{1}{50}$ 秒 (m)





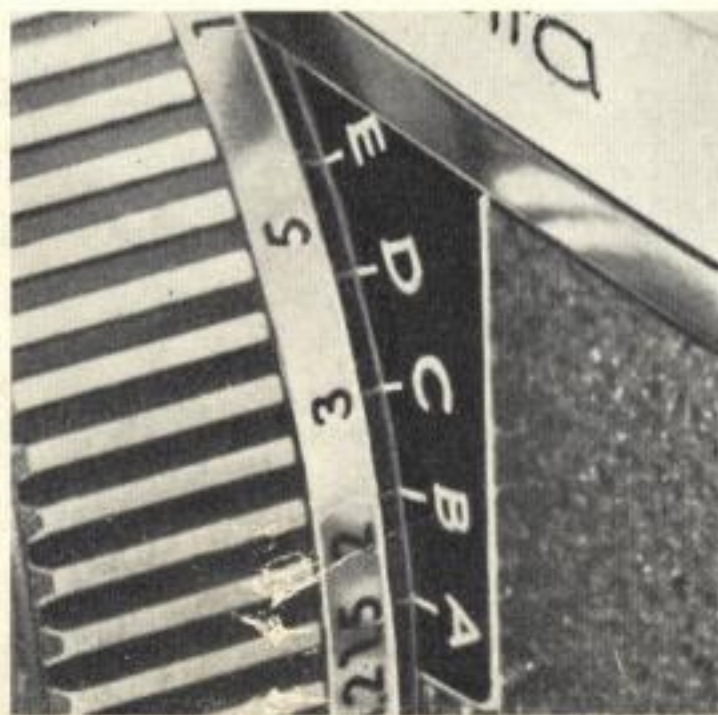
## フラッシュ露出の合わせ方

ファインダーを覗いて被写体にピントを合わせたとき、下図のように距離目盛が 3m を示していたとします。

次に、あなたがいつも使う閃光球が、例えばウェストの MX-O だとすると、ASA 100、 $\frac{1}{125}$  秒に於ける、MX-O のガイドナンバー (m) は約 35 ですから、前頁の光量記号の表によって、記号の C に相当することがわかります。そこで、露出調節リングを廻して、光量記号のそばにあるフラッシュガイド用距離

目盛の 3m (被写体距離) を、使用球に相当する光量記号の C に合わせてフラッシュ撮影をすれば、常に適正露出の美しい写真が写ります。

☆あなたがいつも使う閃光電球又はスピードライトが、ABCD 光量記号のどれに相当するかをおぼえておけば、露出の調節は極めて簡単です。



## M・X接点の切換え

レンズ鏡筒の向って左側、セルフタイマーレバーのそばに MX 接点切換レバーがあり、M 級閃光電球を使う場合は M へ、スピードライトの場合は X へ合わせておきます。





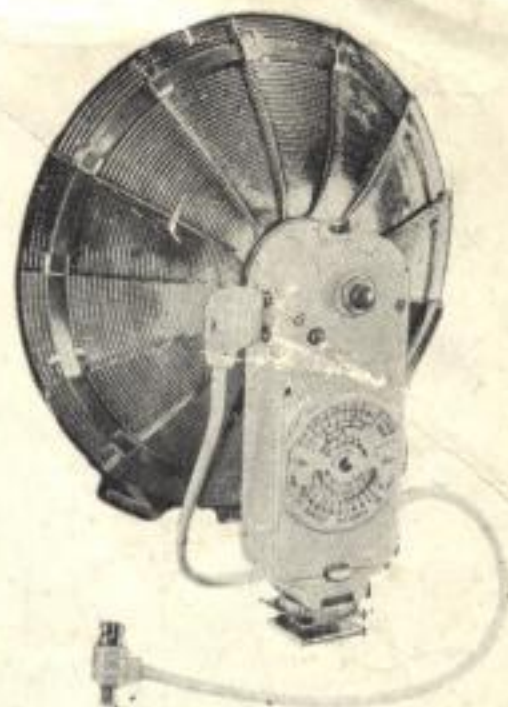
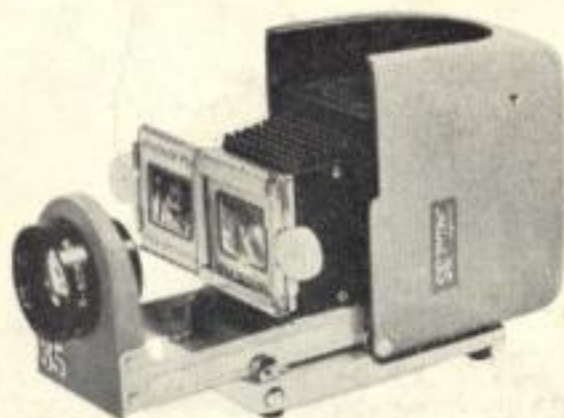
# ユニオマットのアクセサリ

有害な光線を防ぐ  
レンズフード  
ケース入 ¥600

より美しく写すために・・・  
フィルター  
ケース入 ¥580



一家揃って楽しい映写・・・  
ミノルタ ミニ 35  
スライド映写機  
バッグ付 ¥4,800



夜間撮影に・・・  
ミノルタ BC 発光器  
ケース付 ¥1,700

## 3 カ年間品質保証

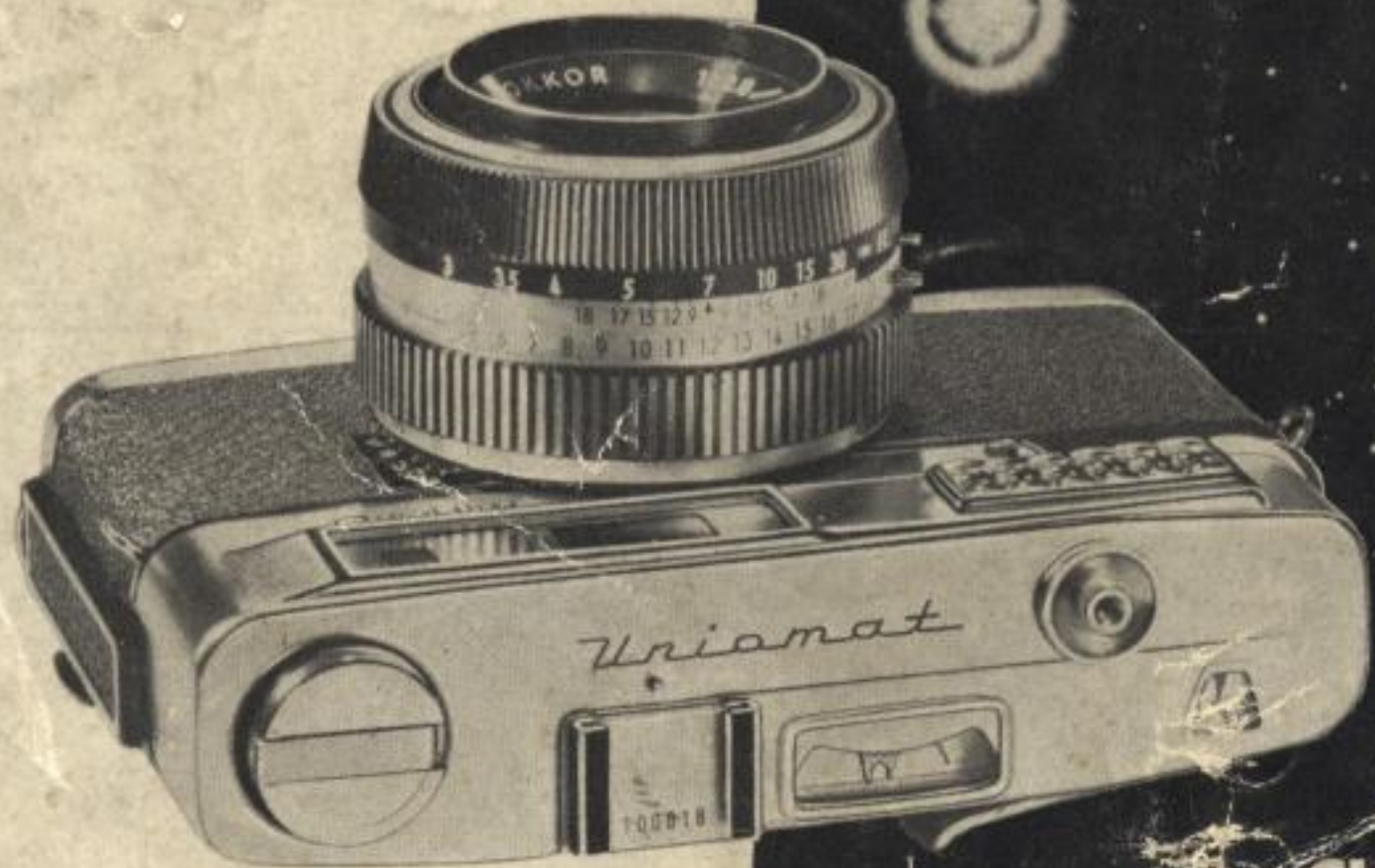
カメラの化粧箱の中に入っている愛用者カードは、所要事項をご記入の上、10日以内に大阪本社サービス宛 お送り下さい。そうすれば、あなたのカメラは当社の台帳に記載され、折返し3カ年保証証書をお送り致します。修理のときや、今後のあなたとの通信連絡、或は万一の盗難の時にも役立ちます。万一故障の場合は直接大阪本社或は当社の各地サービスステーションへご相談、又はお送り下さい。

## 各地サービス・ステーション所在地

- ▶ 札幌市北2条西3-1 越山ビル内 TEL. ④ 0181
- ▶ 東京都中央区銀座3-3 TEL. (561) 4636・4965
- ▶ 名古屋市中区南呉服町2-18 南呉服ビル TEL. ② 7221
- ▶ 大阪市東区北久宝寺町3-23 TEL. ⑤ 2216~9
- ▶ 広島市八丁堀53 TEL. ② 0286
- ▶ 福岡市下名島町57 大井証券ビル内 TEL. ⑤ 4472

千代田光学精工株式会社





**CHIYODA KOGAKU SEIKO K. K.**